



今まで、たくさんの応援をありがとう

第一次10カ年計画
2011~2020

2011年3月に始動し、「10億円の寄附を集め、50万本の苗木を育て、100haの土地に10年間で植え終える」という目標をたて、日本国内にとどまらず世界各地からの応援を得て、2020年10月に「植え終える」ことができました。大きなトラブルなく、ほぼ当初の計画どおり順調に10年を終えることができるのも、支えてくださる方々のおかげと感謝しています。

ボランティア参加者 延べ11,649人

雇用 延べ9,103人

播種数 552,306粒

活着率 99.1%

育苗場の防風ネットの敷設にボランティアが活躍 (2012.3.3)

名取市海岸林再生の会の手で初めての播種 (2012.3.30)

種が腐ったのではないかとやきもきしながら待ちに待った発芽に向かう歓声と安堵 (2012.5.1)

初めての植栽 (2014.4.28)

2014年に植栽した苗木は、最高樹高5.2mに到達 (2020.6.20)

南北5キロの中間地点から南側をドローンで撮影 (2020.9.15)

←担当部長 吉田

植栽すべて完了!
2014年から20年までの7年かけ、約100haの土地に作業道などを除く72.46haに**37万本**のクロマツの苗木を森林組合の作業員、植樹祭に参加したボランティアさんの手で植え終えました。

トローン動画

プロジェクトを記録した**本**ができました!



元日経新聞論説委員の小林省太さんが100人以上へのインタビューの記録をもとに執筆した本が12月に発売されました。「小林省太さんが、プロジェクトを開始した2011年から10年間そばで携わっていらっやったこともあり、臨場感がひしひしと感じられ、非常に胸が熱くなりました」(大学生)という感想にあるように、震災直後を綴った章では迫るものがあります。ぜひお読みください! 書籍通販サイトまたは書店でのご注文をお願いします。

オンライン報告会 2月18日開催予定

「松がつなぐあした」の著者 小林省太氏が、プロジェクトの今を語ります。詳細は海岸林HPをご確認ください。



2021年3月末で募金受付終了
終了まで**ラストスパート!!**

10億円を目標に2011年から寄附を募り、12月末現在で2,186の企業・団体、個人のみならず、これまで8億986万5,728円のご寄附をいただき、多くのご支援に感謝しています。計画時に見積もっていた補植費用の削減が大きく影響し、10億円の予算を下回る経費で運営することができています。*募金受付は終了しますが、当面、銀行と郵便局の口座はそのまま維持します。

「第10回大阪マラソン」2022年2月27日開催!

2020年11月開催予定だった「第10回 大阪マラソン」は、びわ湖毎日マラソンと統合して2022年2月27日に開催することが決定しました。コースなどは検討中。去年、選定されたチャリティ寄付先団体は持ち越しとなっているため、大阪マラソンチャリティ事務局から詳細が届き次第、ホームページでお知らせします。

2021 まだまだ続くよ 2030... いつまでも 2040...



10カ年計画が終わって、これからどうするの? プロジェクトはもう終わっちゃうの? ボランティアはもうおしまい? など、たびたび質問を受けます。ここで色々な疑問に一挙にお答えします!



プロジェクトは終わっちゃうの?

まだまだ終わりません! いや、終われません! 木は、植えた人の責任で健康に大きく育てなければならぬと思っています。寄附受付は3月末で終了しますが、これまでの積立金を取り崩し、資金が尽きた時がプロジェクトが終了する時です。今のところ、2040年ごろまで続ける予定です。



ボランティア活動は続くの?

今後もボランティアなくしては活動が継続できないと思っています。当面は、溝切り(排水路掘り)や下刈り、ごみ拾いが中心となります。木が成長するにつれ、ボランティアでできる作業は変わってゆくと思いますが、少なくとも2025年ごろまでは継続する予定です。3月からのボランティアを募集中です! 詳しくは→



これから、どんな作業がまっているの?

2011年からの10年間は、苗木を育て、植えることがメインでしたが、2021年からの第二次10カ年計画は、下刈りやツル切り、除伐やクロマツの除間伐などの保育活動がメインとなります。



「名取市海岸林再生の会」の活動は続くの?

被災農家で組織した再生の会は、クロマツの苗を育てることが主な仕事です。名取市での植栽は完了しましたが、再生の会の苗が林野庁長官賞を受賞するなど、育苗技術が高く評価され、その技術が必要とされているため、当面の間、少量を継続して育苗することになりました。メンバーは、みな10歳重ね70代が中心となりましたが、作業場は語らいの場として笑い声が絶えません。



他にもお伝えしておかなければならないことがあれこれ...

寄附者銘板は引っ越し

銘板を設置してある防風垣が強風にさらされ、だいぶ朽ちています。そのため、2020年に設置したばかりの防風垣に引っ越しし、設置の予定です。



防風垣、防風柵はゆくゆくは撤去

植栽地に設置されている防風垣と防風柵は、強風が吹けばすぐに倒れてしまいそうな幼苗を守ってきました。クロマツはすでにその高さを超えたものもあり、役目を終えた防風垣と防風柵から徐々に撤去を進めていく予定です。



左が防風柵、奥が防風垣

石碑と説明看板を設置予定

名取市周辺地域では、海岸林の植栽を記念して建立された「愛林碑」がその歴史を後世に伝えていました。再生の会とオイスカが名取市の海岸林再生を手掛けてきた10年のひと区切りとして、今夏以降に植栽地内への石碑の建立と、海岸林再生の説明看板の設置を検討しています。

除間伐(本数調整伐)始まる

大きく育ったクロマツをさらに太く高く成長させるためには、枝と根を伸ばすための適度なスペースが必要です。そのため、今秋以降、森林組合の作業員の手で徐々に除間伐を進めていきます。

「KAIGANRIN REPORT」最終号!?

プロジェクトのあれこれを年2回お伝えしてきましたが、今回は最終号となり、今後は、ホームページで進捗状況を報告していく予定です。

つぶやき... 10年をひと区切りとして、紙面で伝えたい事がたくさん盛り込みたい! あれもこれも詰め込んだら文字だらけ(-_-;) 余白があると何か入れたくなってしまう性分なのもあって、紙面が読みにくくてごめんなさい。でも、いちばん伝えたい事は「ありがとう。おかげさまで」というひとことだけ(鈴)

	これまでの実績				
	植栽本数	植栽面積	ボランティア数	講演会開催数・聴講者数	寄附金額(民間助成金)
2011~13年度	—	—	262人	75回 11,195人	240,478,577円
2014年度	80,182本	15.67ha	1,365人	30回 4,692人	100,263,158円
2015年度	55,084本	10.06ha	1,691人	30回 4,996人	101,024,711円
2016年度	56,037本	11.00ha	1,800人	26回 3,893人	89,502,022円
2017年度	71,945本	13.66ha	2,096人	30回 5,911人	84,045,449円
2018年度	81,600本	16.32ha	2,273人	22回 4,178人	89,877,990円
2019年度	6,000本	2.00ha	1,892人	24回 3,347人	76,392,139円
2020年度(12/31現在)	19,350本	3.75ha	270人	4回 913人	28,281,682円
合計	370,198本	72.46ha	11,649人	241回 39,125人	809,865,728円